

平成30年度

みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクール表彰式

ビデオCMという様々な表現が可能な媒体を通して、いじめ根絶の重要性をより多くの小・中学生に伝えるとともに、一般の人々にも広く周知すること、更には、ビデオCMづくりを通して、より深くいじめ問題について考えさせることを目的に、昨年度から始まり第4回目となった「平成30年度みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクール」の表彰式と優秀作品の発表会を行いました。

表彰式には最優秀賞に輝いた白石市立福岡小学校かしの木児童会を代表して、6年生の大沼聖来さん、岩下彩優さん、武田恭佳さん、優秀賞の涌谷町立涌谷中学校生徒会執行部を代表して、3年生の坪山裕太郎さん、2年生の伏見夢希さん、同じく優秀賞の利府町立利府第三小学校児童会を代表して、6年生の伊藤聡汰さん、内藤美月さん、齋藤芽依さん、同じく優秀賞の白石市立白石第一小学校放送委員会を代表して、6年生の榊原雅人さん、高原亜実さん、阿部有華さん、同じく優秀賞の色麻町立色麻中学校生徒会を代表して3年生の佐藤若奈さん、山口泰央さんが参加し、高橋仁県教育長からそれぞれ賞状と副賞を受け取りました。

受賞作品の上映の後には、制作の様子や作品に込めた思いを発表し、会場から大きな拍手をいただきました。



【感想】

- ・ 短い時間の中で、いじめについての意見をまとめ、しっかり述べられていることはすごいと思った。
- ・ 小・中学生でいじめをゼロを訴えていくのはとても良いと思った。
- ・ 短い映像の中で、一言かける勇気の大切さなどが伝わった。
- ・ 印象に残るものがたくさんあり、私たちも作ってみたいと思いました。
- ・ 5つの作品、全て雰囲気違ったけど、「いじめの撲滅」に向けて作られていた。
- ・ いじめを見た人にも勇気を与えるようなCMで、全部の作品から製作者のいじめに対する気持ちが伝わった。
- ・ いじめをなくしたいという意志を学校ごとに考え、まとめてありとても良い作品だったと思います。
- ・ 多種多様な作品があり、その一つ一つのメッセージを感じ取ることができた。
- ・ ただのCMではなく、しっかりといじめがいけないという気持ちがこもっていて素晴らしいと思った。
- ・ 小学生や中学生がいじめについて自ら考え、作製していることは素晴らしいことだと思いました。
- ・ 短いCMの中に強いメッセージがあって、すごいと思いました。これを作るということでも、いじめについて考える機会になっていると思いました。
- ・ 思いやりや勇気はやっぱり大切だと思いました。
- ・ いじめをなくすための取り組みについて、どのようなことをしたら良いのかを考えさせられた。
- ・ 小・中学生が作ったものだからこそ感じられる、いじめ防止の大切さを改めて感じる事ができた。
- ・ いじめについて、ここまで深く考えていることを知ってとてもすごいと思った。

宮城小・中学生いじめ問題を考えるフォーラムに参加していた中学生の感想（一部）